

令和 9 年度の調査計画について

1 発掘調査等

令和 9 年度の発掘調査等は、資料 1 - 1 「史跡広島城跡第Ⅱ期整備の進め方について」に基づき、第Ⅱ期整備の具体化に必要な基礎情報を得るために実施する。調査成果は、天守等に関する今後の検討、既設埋設設備の更新・再配置、地形造成・排水、園路・動線、仮設計画及び遺構保護策等の検討に反映する。

地点		規模	目的
①本丸上段	東面土居 (裏御門正面階段部)	幅 3.0m×長さ 15m＝ 45.0 m ²	・ 築城時の造成状況 ・ 築城初期の地表面
	東面土居 (北東管理道の北側)	幅 1.5m×長さ 15m＝ 22.5 m ²	・ 階段及び埋設設備設置状況 ・ 遺構遺存状況
②本丸上段	南小天守台南東隅部	幅 1.5m×長さ 5.0m＝ 7.5 m ²	・ 構築手法や堆積層 ・ 周辺石垣との比較検討 ・ 本丸上段・下段の地形造成と南小天守台の関係性
③本丸上段	北側 (既設埋設設備の確認)	幅 2.0m×長さ 3.0m× 4箇所 ＝24.0 m ²	・ 埋設設備の位置特定 ・ 近世・近代の遺構面までの深度 ・ 遺構遺存状況 ・ 遺構保護層厚
④史跡外周部北側 (その 1)		幅 2.5m×長さ 20.0m× 4箇所 ＝200.0 m ²	・ 近世・近代の遺構面までの深度 ・ 遺構遺存状況 ・ 埋設設備の位置特定
		合計 299.0 m ²	
本丸上段	GPR 探査	約 1,500 m ²	・ 未実施箇所について実施

2 石垣調査

令和 9 年度の石垣調査は、資料 2 「史跡広島城跡石垣等の保存管理について」に基づき、現況記録作業を継続するとともに、保全対策の優先度が高い石垣について、追加調査及び必要な保存対策の検討を行う。

地点	規模	内容
⑤二の丸石垣	石垣面 230 m ²	令和 8 年度に作成するオルソ図に現状把握を目的とした所見の追加作業を実施し、石垣カルテを作成する。
⑥優先度が高い石垣 〔本丸下段・中御門周辺石垣〕 〔本丸下段・裏御門周辺石垣〕	石垣面 190 m ²	優先度評価を踏まえ、変状の要因分析(調査)、有識者の意見聴取及び必要な保存対策の検討を行う。

3 今後のスケジュール

今回会議の議論を踏まえ、調査執行体制及び予算措置を検討し、来年 3 月に開催予定の保存活用会議において改めて実施内容及び実施スケジュールを示す。